

アセットリノベーション投資事業有限責任組合への新規加入と
第六号案件の投資決定について

当機構は、2021年12月16日にアセットリノベーション投資事業有限責任組合（以下、本ファンドという。）を(株)常陽銀行、(株)OHANAPANAと組成しました。

今般、(株)北陸銀行が新たに本ファンドに加わりましたのでお知らせします。

本ファンドは、国土交通省のまちづくりファンド支援業務（老朽ストック活用リノベーション等推進型）に基づくものです。本ファンドでは、築20年以上の建築物を活用し、職住近接・職住一体となった柔軟な働き方や暮らしやすさの実現、または脱炭素社会の実現に資する事業であり、具体的にはテレワーク拠点（サテライトオフィス・シェアオフィス・コワーキングスペース等）やグリーン・オープンスペース等の整備を含む民間まちづくり事業、および建築物の環境性能の向上に資する設備の整備を伴う事業に投資を行うものです。

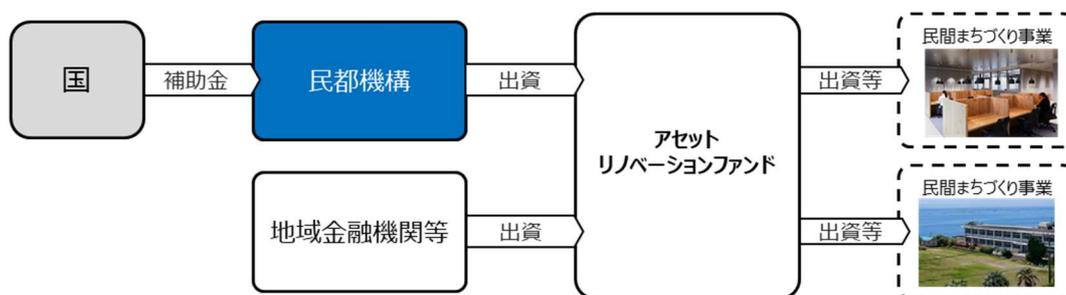
今後も民間まちづくり事業に対し、地域金融機関等と共に出資等を通じた金融支援を行って参ります。

1. 本ファンドについて

(1) ファンド概要

| | |
|-------------|--|
| ファンド名 | アセットリノベーション投資事業有限責任組合 |
| 設立時期 | 2021年12月16日 |
| 無限責任組合員（GP） | (株)OHANAPANA（NEC キャピタルソリューション(株)100%出資） |
| 有限責任組合員（LP） | (株)常陽銀行 (株)南都銀行 (株)京都銀行 NEC キャピタルソリューション(株) (株)広島銀行 (株)十六銀行 (株)百五銀行 <u>(株)北陸銀行（2025年3月12日加入）</u> 一般財団法人民間都市開発推進機構（順不同） |
| 投資対象 | ・老朽ストック（築20年以上）を活用し、脱炭素社会の実現に資する テレワーク拠点やグリーン・オープンスペース等の整備を含む事業 ・建築物の環境性能の向上に資する設備の整備を伴う事業 |
| 投資形態 | ・出資（優先株式・匿名組合出資） ・社債の引受（普通社債・劣後社債）・特定社債の引受 |
| 投資期間 | 約4年（2025年12月末まで） |
| 存続期間 | 約14年（2035年12月末まで） |

(2) ファンドのスキーム図



2. 第六号案件への投資決定について

本ファンド第六号案件として、株式会社小松 DMC への投資が決定されました。同社は、旧廻船問屋屋敷「旧沖家」と旧北國街道沿いの「旧三島家」といった小松市内の古民家をリノベーションし、一部ワーケーション施設とした古民家宿泊施設の企画、開発を行います。本ファンドにおいては、北陸地方における初投資案件となります。

本投資決定に伴い、2025年3月28日（金）、小松市役所において「小松市の地域活性化に向けた持続可能な官民連携まちづくり体制キックオフミーティング」が開催されました。

■投資先概要

| | |
|-----------|---|
| 商号 | 株式会社小松 DMC |
| 所在地 | 石川県小松市龍助町 29 番地 1 |
| 代表取締役 | 石崎 陽之 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊（旅館）事業 ・ イベント企画、運営 ・ まちづくり計画事業の推進 |
| 投資対象事業の建物 | 「旧沖家」（小松市安宅町） 「旧三島家」（小松市龍助町） |

■投資対象事業の外観（現況）

<沖家>



<三島家>



■「小松市の地域活性化に向けた持続可能な官民連携まちづくり体制キックオフミーティング」の様子



左から 国土交通省 松川企画専門官、(株)北陸銀行 森田常務執行役員、(株)日本政策金融公庫 久野小松支店長、
小松市 宮橋市長、(株)小松 DMC 石崎社長、(株)QR インベストメント 浜野社長、当機構 渡邊常務、
(株)OHANAPANA 須藤ディレクター

本件に関するお問い合わせ先
一般財団法人 民間都市開発推進機構
まちづくり支援部 TEL:03-5546-0797